

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区神田神保町3-29-1

今週の注目材料 = グッドフライデーの中での米雇用統計は？

2021年3月29日

二日はグッドフライデーで世界中の多くの国で市場が休場となります。ユーロは加盟国すべてが祝日でないと休場にならないため、このイースターシーズンとクリスマス及び元日が数少ない市場休場日です。米国も株式市場や原油市場など多くの市場が休場。銀行も基本的には休業日で債券市場もお休みとなりますが、連邦政府の法定休日ではないため米雇用統計が発表されます。

取引参加者の相当少ないところに大きな材料が出ることで、結果次第では大荒れの相場となる可能性もあります。

しかも、今回の雇用統計、米国で新型コロナウイルス向けワクチンの接種が進み、各州が行動制限を緩和していることもあり、相当強めに出る可能性が高いです。ただ、状況の大きな変化は予想をかなり難しくさせますので、事前予想値との乖離もありそうで、波乱含みの発表となりそうです。

まずは前回の数字の確認から行ってみましょう。

2月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数（NFP）が予想の20万人増に対して37.9万人増とかなり力強い結果となりました。1月の数字が速報時の4.9万人増から16.6万人増に上方修正されたうえでの数字です。失業率も1月の6.3%と同水準との予想に対して6.2%と0.1%の低下を示しました。

なお政府部門は8.6万人の減少となっており、民間部門だけで見ると46.5万人の増加です。2月に入って行動制限の緩和が目立ち、ある程度は強くなるとの見方が広がっていましたが、予想以上という印象です。

内訳を詳しく見ると、2月に米国を襲った寒波の影響もあり建設業は6.1万人の減少。鉱業もマイナスとなっており、製造業自体はプラスでしたが、生産部門（広義製造業）は4.8万人のマイナスでした。

強く出たのが民間サービス部門。各州で課せられた行動制限が緩和する中で、レジャー&ホスピタリティ部門（映画館・カジノ・劇場などからなるレジャー部門、レストラン・バーなどの飲食部門、ホテルなどの宿泊部門）が35.5万人の大幅増に。

小売業が4.1万人増、訪問介護などの関係で1月分がサプライズ的にマイナスとなったヘルスケア&ソーシャルアシスタンス部門が4.56万人増と、新型コロナ関連で厳しい状況となっていた部門の雇用回復が目立ちました。

こうした状況は、今回さらに改善されると期待されています。

行動制限が最も厳しい週の一つであるカリフォルニア州は5日に屋外施設の営業規制を緩和するなど、規制の緩和に動きました。屋外飲食については1月29日に緩和されていましたが、同州ロサンゼルス群で屋内飲食が今月15日からようやく可能に。美術館や動物園などの屋内営業、フィットネスセンター、ジムなどの屋内営業も、人数制限

をしながら可能となっており、少しずつ正常化が進んでいます。

こうした状況が全米規模で起きる中、今回は相当な雇用増が見込まれています。前回の強い数字を支えたレジャー & ホスピタリティ部門については、前回の大幅増を足しても、コロナ前と比べて300万人以上雇用者が少ない状況で、まだまだ回復の余地があります。

また、前回雇用減が目立った建設業に関しては悪天候の影響が大きかったとみられており、今回はその反動もあって大きな増加が期待されます。政府部門は読みにくいですが、前回のような大幅減が見られなければ、その分の差が今回の数字を押し上げます。

こうした状況を受けて、今回の予想は59万人増と前回を大きく超えるものとなっています。失業率の予想は6.0%とこちらも改善見込みです。

先週発表された新規失業保険申請件数が予想を大きく下回る68.4万件にとどまり、パンデミック以降で最少となりました。こうした状況に表れているように、米国の雇用状況の改善は著しいものがあります。そうした意味では59万人増という数字自体はかなり大きいですが、可能性は十分にありうるところだと思われます。

ただ、予想値はかなり割れており、より強い数字を見込む動きも見られます。直前まで事前予想動向などもにらみながらの展開となりそう。31日のADP雇用者数、1日のISM製造業景気指数などにも注意しながら、本番を迎えたいところです。

山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。